

令和 2 年度  
中海・宍道湖・大山圏域市長会  
事業実施報告

## 目次

1 事業実施概要	……p. 1
2 一般会計	
(1) 事務局運営費	……p.2
(2) 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	
①圏域企業の産業連携支援事業	
・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング……p.3	
・産学・医工連携事業	……p.5
②圏域内企業の海外展開支援事業	
・ロシアへの販路拡大支援事業	……p.7
・海外商談会参加等支援補助金	……p.8
・インドとの経済交流事業	……p.9
・台湾との経済交流事業	……p.11
③山陰いいものマルシェプロジェクト	
・山陰いいものマルシェプロジェクト	……p.12
(3) 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	
①外国人誘客対策事業	
・クルーズ客船寄港時のおもてなし	……p.13
・圏域インバウンド対策事業	……p.13
②国内誘客対策事業	
・国内での観光プロモーション	……p.14
・三大都市圏への圏域PRプロジェクト	……p.14
・アフターコロナ緊急対策事業	……p.14
③圏域観光の魅力アップ事業	
・観光客受け入れ体制の充実	……p.15
④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費	
・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営	……p.15
(4) 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）	
①自然環境の保全・活用事業・自然環境学習	……p.16
・自然環境の保全・活用にかかる広報啓発	……p.17
②安心して暮らすことのできる環境づくり事業	
・防災対策の充実	……p.18

## (5) ともに歩む圏域づくり（連携と協働）

- ①圏域情報の共有・発信
  - ・圏域内外のエリアプロモーション ……p.19
- ②圏域内の連携・交流推進
  - ・圏域内の連携・交流推進 ……p.20
  - ・人材育成の共同化 ……p.22
  - ・文化・スポーツ交流促進事業 ……p.23
  - ・圏域情報活用推進事業 ……p.24
  - ・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業 ……p.25
  - ・移住・定住促進事業 ……p.26

## 3 特別会計 環日本海貨客船航路就航支援補助金

### (1) 環日本海貨客船航路就航支援

- ①定期貨客船航路就航支援補助金 ……p.27

## **参 考** 令和2年度 中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告

- (1) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局令和2年度決算額一覧表 ……p.30
- (2) 一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業実施報告
  - ①外国人誘客対策事業
    - ・クルーズ客船寄港時のおもてなし ……p.31
    - ・圏域インバウンド対策事業 ……p.32
  - ②国内誘客対策事業
    - ・国内での観光プロモーション ……p.33
    - ・三大都市圏への圏域PRプロジェクト ……p.34
    - ・アフターコロナ緊急対策事業 ……p.35
  - ③圏域観光の魅力アップ事業
    - ・観光客受け入れ体制の充実 ……p.36
  - ④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費
    - ・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営 ……p.37

## 1 事業実施概要

令和2年度は、新たに策定した第2期地方版総合戦略に基づき、この圏域が東アジアのゲートウェイとして日本海側の一大拠点となるよう、産学・医工連携の推進による新産業の創出、インドとの経済交流の拡大、新たな台湾との交流、インバウンド観光の推進などグローバルな動きを具現化していくこととしていた。

しかしながら、2020年1月に明らかになった中国武漢での新型コロナウイルス感染症により、日本国内にも多数の感染者が発生し、全国的に蔓延することとなった。その影響は当圏域にも及び、圏域経済や市民生活に多大な影響を及ぼした。

このため、当市長会の当初事業計画も変更し対応せざるを得ない状況となり、三密の回避、国内外での移動の制限等、様々な制約があるなかで取組みを進め、試行錯誤を重ねながら、オンラインの活用等、可能な範囲で事業を行った。感染状況を注視し、弾力的な予算の見直しや組み替えなど柔軟な事業運営を行うことによって、これまで推進してきた事業が途切れることなく、効果的な事業展開を図ったところである。

○一般会計	25事業	98,537千円	(※事務局運営費を除く)
○特別会計	1事業	0円	

事業検証については、地方創生推進交付金の申請時に設定したKPIを中心に、中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員会で行う予定。

## 2 一般会計

### (1) 事務局運営費

事業名等	事務局運営費																																				
事業概要			予算現額	12,800,000 円																																	
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。	決算額		12,055,670 円																																		
	財源	国・県支出金	0 円																																		
		補助金	0 円																																		
	内訳	負担金	一般	3,401,733 円																																	
			特定	8,653,937 円																																	
前年度決算額			15,137,435 円																																		
<b>1. 事業内容</b> (1) 各種会議の開催 総会 2回 8/4・2/11 幹事会 3回 7/15・11/18・1/25 企画担当課長会 4回 7/2・10/13・11/10・1/20 産業振興担当課長会 3回 6/17・10/6・10/30 観光振興担当課長会 2回 6/24・10/28 環境保全担当課長会 3回 7/31・10/1・10/26 総合戦略推進委員会 1回 8/19  (2) 事務局の運営  <b>2. 経費内訳</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現計予算額</th> <th>R2 決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・会議費</td><td>420,000 円</td><td>394,409 円</td></tr> <tr><td>・旅費</td><td>300,000 円</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>・需用費</td><td>1,279,000 円</td><td>1,032,665 円</td></tr> <tr><td>・役務費</td><td>378,000 円</td><td>419,234 円</td></tr> <tr><td>・委託料</td><td>40,000 円</td><td>21,486 円</td></tr> <tr><td>・使用料及び賃借料</td><td>833,000 円</td><td>827,220 円</td></tr> <tr><td>・備品購入費</td><td>550,000 円</td><td>554,070 円</td></tr> <tr><td>・人件費負担金①</td><td>12,000,000 円</td><td>4,806,586 円</td></tr> <tr><td>・人件費負担金②</td><td>4,000,000 円</td><td>4,000,000 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>19,800,000 円</td><td>12,055,670 円</td></tr> </tbody> </table>						現計予算額	R2 決算	・会議費	420,000 円	394,409 円	・旅費	300,000 円	0 円	・需用費	1,279,000 円	1,032,665 円	・役務費	378,000 円	419,234 円	・委託料	40,000 円	21,486 円	・使用料及び賃借料	833,000 円	827,220 円	・備品購入費	550,000 円	554,070 円	・人件費負担金①	12,000,000 円	4,806,586 円	・人件費負担金②	4,000,000 円	4,000,000 円	計	19,800,000 円	12,055,670 円
	現計予算額	R2 決算																																			
・会議費	420,000 円	394,409 円																																			
・旅費	300,000 円	0 円																																			
・需用費	1,279,000 円	1,032,665 円																																			
・役務費	378,000 円	419,234 円																																			
・委託料	40,000 円	21,486 円																																			
・使用料及び賃借料	833,000 円	827,220 円																																			
・備品購入費	550,000 円	554,070 円																																			
・人件費負担金①	12,000,000 円	4,806,586 円																																			
・人件費負担金②	4,000,000 円	4,000,000 円																																			
計	19,800,000 円	12,055,670 円																																			
○令和2年度人件費負担金① 一般第4期																																					
	当初予算	決算見込 a	R1 余剰額 b	R2 徴収予定 a-b																																	
出雲市	3,000,000	1,250,000	86,516	1,163,484																																	
松江市	3,000,000	1,250,000	86,515	1,163,485																																	
米子市	3,000,000	1,250,000	86,516	1,163,484																																	
安来市	1,500,000	625,000	43,258	581,742																																	
境港市	1,500,000	625,000	43,258	581,742																																	
合計	12,000,000	5,000,000	346,063	4,653,937																																	
○令和2年度人件費負担金② 一般第4期																																					
・境港市から4,000,000円を負担金として徴収																																					

## (2) 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業		
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング		
事業概要	予算現額		4,300,000 円
	決算額		4,300,000 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	4,300,000 円		
前年度決算額		8,700,000 円	

## 1. 事業内容

圏域内企業の取引拡大や連携促進等による圏域経済の活性化を図るため、圏域内の商工団体・行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」と連携し、圏域内企業の連携支援を行う。

## (1) 圏域内企業情報データベースの情報発信

圏域内企業間の連携や圏域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を充実させ、圏域内外企業へ情報発信を行った。

## 「圏域ものづくり.net」実績

年度	H28	H29	H30	R1	R2
登録企業数（社）	516	542	568	579	601
全アクセス数（件）	347,405	460,301	476,004	541,952	525,415
月平均アクセス数（件）	28,950	38,358	39,667	45,162	43,784

## (2) 圏域内企業のビジネスマッチングの開催

圏域内企業の販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等を図るため、12月3日（木）と4日（金）、ビジネスマッチング商談会を開催した。  
なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当初計画していた対面式の商談会ではなく、オンラインによる商談会を、本事業としては初めて開催した。



## 「ビジネスマッチング商談・展示会」実績

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
参加企業（社）	265	236	301	285	291	163
商談件数（件）	528	456	711	651	663	318
開催地	出雲市	米子市	松江市	安来市	出雲市	オンライン

※R1までの数値：対面式商談会、R2数値：オンライン商談会

※第1期地方版総合戦略の数値目標：H27～R1 商談件数累計1,800件（360件/年あたり）

第2期地方版総合戦略の数値目標：R2～R6 商談件数累計3,400件（680件/年あたり）

[参加企業向け事前勉強会の開催]

オンライン商談会の開催に際し、参加企業を対象に、オンラインシステム Zoom の操作方法、オンライン商談、営業手法に関する事前勉強会を開催した。

- 米子会場 10月23日(金) 米子コンベンションセンターBIGSHIP
  - 10:00～11:30 の部 8人参加、web 視聴数 10
  - 13:00～14:30 の部 4人参加、web 視聴数 10
- 松江会場 10月27日(火) くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)
  - 10:00～11:30 の部 5人参加、web 視聴数 15
  - 13:00～14:30 の部 5人参加、web 視聴数 9
  - 15:00～16:30 の部 3人参加、web 視聴数 8

## 2. 経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料 4,300,000 円

### 【財源】

ものづくり実行委員会負担金 4,300,000 円(860,000 円/市)

事業項目	①圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	産学・医工連携事業			
事業概要	予算現額	15,486,928 円		
圏域内の商工団体、自治体、国立大学、国立工業高等専門学校、研究機関等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」と連携し、圏域内企業の産学・医工連携支援を行う。	決算額	15,486,928 円		
	財源	国・県支出金	7,616,000 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	7,870,928 円
			特定	円
前年度決算額	17,096,430 円			

### 1. 事業内容

圏域の自治体、事業者、病院、国立大学等の産官学で行われている医工連携の取組促進により、産業振興、雇用創出等を図るため、圏域内の商工団体、自治体、国立大学等で構成する中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会（以下「協議会」）へ業務委託し、産学・医工連携の取組における各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具の販路開拓（出口支援）等、各段階における支援を行った。

#### (1) ニーズの発掘、調査及び案件化

- 前年の圏域内各医療機関等のニーズ案件に関する検討結果報告（4病院）
- 実現精度の高いニーズの具現化

#### (2) 医療・福祉・介護機器の開発支援

- ニーズ案件の試作・実用化・臨床化支援
- 圏域内外の提案・提携企業等の探索・マッチング

#### 〔医療機器等の新製品開発（実用化）〕

##### 『トラキアボックス』の開発

鳥取大学医学部附属病院が、協議会及び圏域内企業と連携して、気管挿管時等の医療現場における飛沫感染リスクから医療従事者を守る使い捨ての紙製飛沫感染防止ボックス「トラキアボックス」を共同開発し、9月に製品説明会を行った。



##### 『エマークイック・プロ』の開発

救急隊員からのニーズを基に、飛沫感染リスクから救急隊員を守る使い捨ての紙製飛沫感染防止ボックス「エマークイック・プロ」を、協議会、鳥取県西部広域行政管理組合消防局及び圏域内企業が共同開発し、2月に記者説明会を行った。





(3) 調査研究報告・勉強会・情報共有会の開催

〔賛助会員交流会〕

※開催案内後、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催中止

開催日：1月22日（金） 会場：安来市役所

内容：産学・医工連携プロジェクト活動報告

講演会「経済産業省における医療機器産業政策について」

賛助会員数：79社（R3.3月末現在）

(4) 普及広報活動

ホームページ等の活用による情報発信

圏域内企業ガイドブックの更新

2. 経費内訳

○中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会への委託料 15,232,328円

【財源】

地方創生推進交付金（国1/2） 7,616,000円

○中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会の事務局移転費 254,600円

第1期地方版総合戦略における数値目標と実績

年度		H28	H29	H30	R1	R2
①圏域内企業等の優れた技術を活かした医療機器等の実用化件数（件）	目標値	—	—	2	2	2
	実績値	—	1	0	0	2
②入口・開発・出口の各支援事業の相談件数（件）	目標値	—	100	100	100	100
	実績値	—	78	101	113	55
③入口支援事業により研究事業へのマッチング成立件数（件）	目標値	—	5	5	5	5
	実績値	—	0	12	5	5

※その他、上記③以外の支援事業において成立したマッチング件数

（H30：4件、R1：12件）

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	ロシアへの販路拡大支援事業			
事業概要	予算現額	-		
境港と繋がる定期貨客船航路の運航再開も見据え、ロシアにおける圏域企業のビジネス展開や販路拡大を支援し、圏域のゲートウェイ機能の促進を図る。	決算額	-		
	財源内訳	国・県支出金	-	
		補助金	-	
		負担金	一般	-
			特定	-
	前年度決算額	-		
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>鳥取県事業(鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」)、島根県事業等を活用し、ロシアへのビジネス展開を支援した。</p> <p>○10/13 ロシアの IT 事情を知るオンラインセミナー (鳥取県主催)</p> <p>○ 1/ 7 ロシア IT 産業 オンライン情報交換会 ～島根の IT 企業と技術力の高いロシア IT 企業との協業の可能性を探る～ (島根県主催)</p> <p>[参考]</p> <p>鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」(H29.3月設立)</p> <p>○構成団体 国、国団体、経済団体、金融機関、大学、文化・スポーツ団体、観光関連団体・企業、県内自治体、鳥取県 ※中海・宍道湖・大山圏域市長会も参画。</p> <p>○事務局 鳥取県商工労働部通商物流課</p> <p>○取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日露双方の企業・貿易情報の共有とビジネスマッチングの推進</li> <li>・勉強会、セミナー等の開催</li> <li>・有望分野のビジネス案件の重点推進</li> <li>・見本市等への参加、フォーラムの実施、ミッション派遣</li> <li>・日露経済協力プランの推進や県外企業の日露ビジネスの需要の取込み</li> <li>・国レベルでの課題解決の要望、事業提案及び関する国等の事業の取込み</li> <li>・観光交流の推進</li> <li>・文化・スポーツ・青少年交流の推進</li> </ul>				

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	海外商談会参加等支援事業			
事業概要	予算現額	0 円		
海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付等を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。	決算額	0 円		
	財源	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
	内訳	負担金	一般	0 円
			特定	0 円
前年度決算額	1,364,000 円			

### 1. 事業内容

圏域内企業における外国人観光客の誘致及び自社製品・技術等の海外への販路開拓に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援する補助金を交付する事業計画だったが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、補助金の交付申請は無かった。

#### 〔海外商談会参加等支援補助金〕

- ・実施期間 令和2年5月1日～令和3年3月31日
- ・募集期間 令和2年5月1日～令和3年1月31日
- ・補助対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体
- ・補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額10万円  
ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。  
①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合  
補助対象経費の2/3 補助上限額15万円  
②前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合  
補助対象経費の1/4 補助上限額10万円
- ・申請回数限度  
同一の申請者は、同一年度に1回かつ通算3回を申請限度とする。  
ただし、ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等参加の場合は、通算4回目の申請を認める。

#### 補助金交付実績（参考）

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
補助事業者数	30	18	18	5	13	15
補助金額（千円）	3,455	3,285	2,898	663	1,818	2,834
年度	H30	R1	R2			
補助事業者数	5	16	0			
補助金額（千円）	308	1,364	0			

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	インドとの経済交流事業		
事業概要	予 算 現 額	6,762,000 円	
インド・ケララとの経済交流拡大を目指す覚書（MOU）の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	決 算 額	5,536,980 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	2,358,000 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
	特定		0 円
	前年度決算額	9,156,661 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>平成 27 年にインド・ケララ州政府と締結した経済交流を拡大する覚書の具体化を図るため、産業・商工団体、島根大学、ジェトロ、山陰インド協会、自治体等の関係団体で構成する「中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会」との連携により、インド I T 等人材の圏域内企業への就職及び日印企業の業務提携等を図るため、オンラインによる日本語教育支援、圏域内企業紹介、セミナー等を開催した。当初計画していたインド人留学生のインターンシップ、圏域内企業のケララ州での商談会出展や就職フェア等については、新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止した。</p> <p>(1) セミナー・ビジネスフォーラムの開催〔オンライン開催〕</p> <p>○ I T 産業におけるインド・日本とのビジネスセミナー ケララ州 I T 企業を対象に、圏域とケララ州との取組紹介 開催日：7 月 10 日（金） 主催：ジェトロ（松江・鳥取・ベンガルール）、インド産業連盟 協力：島根大学、山陰インド協会、圏域市長会 参加者数：日本側企業 2 社（2 名）（※現地も含めた全参加者 60 名）</p> <p>○ インド経済概況・投資環境セミナー 圏域内企業を対象に、インド経済の最新状況やケララ州の魅力等について紹介 開催日：10 月 29 日（木） 主催：ジェトロ（松江・鳥取） 共催：中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、山陰インド協会、圏域市長会 参加者数：26 名</p> <p>○ 山陰・ケララ ビジネスフォーラム 圏域とケララ州との更なる経済連携及び圏域企業のインド進出や両国関係者のビジネス機会創出を目的に、両国の行政や企業関係者を対象に、両地域の取組、圏域企業の取組等について紹介 開催日：2 月 16 日（火） 主催：圏域市長会、ケララ州、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、印日商工会ケララ、山陰インド協会、ジェトロ（松江・鳥取・チェンナイ）、島根大学 後援：島根県、鳥取県、在インド日本国大使館、在日本インド大使館、在大阪・神戸インド総領事館、JICA 中国 参加者数：106 名</p>			

【山陰・ケララ ビジネスフォーラムの様子（2/16 開催）】



- (2) インド人材向け日本語教育の実施  
 ○インターンシップ参加候補者向けオンライン日本語教育の実施  
 ○日本語教育支援マニュアルの作成
- (3) インターンシップ圏域受入企業による企業説明及び個別面談の実施  
 インターンシップ事業の代替として、希望する圏域内受入企業及びインターンシップ参加候補生（32名）を対象に、オンラインで企業説明や個別面談できる場を設け、インド IT 人材の受入企業への就職の可能性を探る機会とした。

〔圏域内企業説明〕

圏域受入企業 8 社が、動画又は資料により企業情報を提供。

開催日：12月28日～1月8日

参加者数：18名（インターンシップ参加候補生）

〔個別面談〕

開催日：2月18日、19日、3月4日

参加者数：7名（インターンシップ参加候補生）

面談企業数：2社

2. 経費内訳

○中海・宍道湖・大山圏域

インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費 5,536,980円

【財源】

地方創生推進交付金 2,358,000円

第1期地方版総合戦略における数値目標

年度		H30	R1	R2
インドIT等人材の 圏域内企業への就職者数（人）	目標値	3	5	15
	実績値	5	0	0
日印間業務提携企業数（社）	目標値	1	1	2
	実績値	1	0	0
インド人留学生インターン シップ受入れ人数（人）	目標値	14	14	14
	実績値	14	—	—

※H30 就職先企業



株monster・ラボ（2人）→うち1人が離圏（R2）








株オネスト（2人）

株島根情報処理センター（1人）→離圏（R2）

※H30 業務提携企業

株島根情報処理センター

事業項目	②圏域内企業の海外展開支援事業		
事業名	台湾との経済交流事業		
事業概要	予算現額		971,000 円
	決算額		331,617 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
特定	0 円		
前年度決算額		290,380 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域内企業の台湾への海外展開支援として、「T J コネクトフェア 2020」（日台総合産業マッチング大会）による圏域内企業と台湾企業とのビジネスマッチング相談会をオンラインで開催した。</p> <p>また、台北市の春節前建国花市会場において、圏域特産品を販売し、圏域PRを行った。当初計画していた圏域市長会と台北市との経済等交流促進を目的とした覚書締結及び台北市長来圏については、新型コロナウイルス感染症の拡大等により延期となった。</p> <p>(1) 「T J コネクトフェア 2020」（日台総合産業マッチング大会）  圏域内企業と台湾企業とのビジネスマッチング相談会（オンライン商談会）  ○開催日：9月25日（金）  ○相談会場：テクノアークしまね（圏域内企業）、T J コネクトフェア会場（台湾企業）  ○圏域内参加企業数：3社（事前マッチングした台湾企業各2社と計6件の相談会開催）</p>  <p>(2) 春節前建国花市における圏域PR（圏域特産品の販売）  ○開催日：2月6日（土）～9日（火）  ○会場：台北市建国假日花市（台北市の花市場）  ○販売商品：圏域内企業4社の商品</p>  <p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>(1) T J コネクトフェアビジネスマッチング相談会開催経費 190,823 円  (2) 春節前建国花市での圏域PR（圏域特産品販売）開催経費 140,794 円</p>			

事業項目	③山陰いいものマルシェプロジェクト		
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト		
事業概要	予 算 現 額	2,000,000 円	
山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、JR西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。	決 算 額	509,487 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	2,748,410 円		
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>JR西日本、山陰中央新報社、ジェトロ、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会及び圏域市長会の5者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」と協定を締結し、山陰いいものマルシェ及びマッチング商談会・相談会を開催する事業計画であったが、圏域内マルシェ及び商談会については、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を中止した。</p> <p>(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催  <u>※出店者募集後、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催中止</u>  ○山陰いいものマルシェ in 境港  開催日：3月21日（日）10時～16時  場所：境夢みなとターミナル（境港市竹内団地）  ○マッチング商談会・相談会  開催日：3月22日（月）</p> <p>(2) 圏域外でのマルシェ開催〔協力事業〕  ○山陰いいものマルシェ in 岡山（JR岡山駅 東口駅前広場）  開催日：10月2日（金）、3日（土） 出店者数：7事業者  主催：（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局</p>			
			
  			
<p>○山陰いいものマルシェ in OSC（JR大阪駅 大阪ステーションシティ 2F アトリウム広場）  開催日：10月4日（日） 出店者数：17事業者  主催：JR西日本、山陰観光連盟</p>			
  			
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金 509,487 円</p>			

(3) 訪ねてみたい圏域づくり (観光振興) 協定に基づき (一社) 観光局が実施

事業項目	①外国人誘客対策事業					
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし					
事業概要			予算現額	1,200,000 円		
	クルーズ船寄港時、岸壁にて、交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する外国人観光客の満足度アップを図る。		決算額	1,200,000 円		
			財源内訳	国・県支出金	0 円	
				補助金	0 円	
				負担金	一般	1,200,000 円
					特定	0 円
		前年度決算額	5,000,000 円			
中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金			1,200,000 円			

事業項目	①外国人誘客対策事業					
事業名	圏域インバウンドプロモーション					
事業概要			予算現額	12,605,000 円		
	圏域への外国人観光客誘致のための取組を実施する。		決算額	12,605,000 円		
			財源内訳	国・県支出金	推進交付金	4,900,000 円
				補助金		0 円
				負担金	一般	7,705,000 円
					特定	0 円
		前年度決算額	14,240,000 円			
中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金			12,605,000 円			
【財源】地方創生推進交付金 (国；内閣府 1/2)						



事業項目	②国内誘客対策事業			
事業名	国内観光プロモーション			
事業概要		予算現額	1,875,000 円	
国内各方面から圏域への観光客誘致のための取組を実施する。		決算額	1,875,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	1,875,000 円
			特定	0 円
	前年度決算額	3,700,000 円		
中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金		1,875,000 円		

事業項目	②国内誘客対策事業			
事業名	三大都市圏等への圏域PRプロジェクト			
事業概要		予算現額	14,125,000 円	
人口集中地域である三大都市圏等（首都圏・中京圏・関西圏）において、圏域の魅力や観光資源の積極的な情報発信を行い、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		決算額	14,125,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	1,225,000 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	12,900,000 円
			特定	0 円
	前年度決算額	15,000,000 円		
中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金		14,125,000 円		
【財源】地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）				

事業項目	②国内誘客対策事業			
事業名	アフターコロナ緊急対策事業			
事業概要		予算現額	16,574,000 円	
新型コロナウイルス感染症による移動自粛の解除等、収束後の段階的な緩和に伴う観光動向を見据えて国内観光客の旅行需要を喚起し、誘客及び圏域内での周遊観光促進を図る。		決算額	16,574,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	16,574,000 円
			特定	0 円
	前年度決算額	0 円		
中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金		16,574,000 円		

## 02 事業費

事業項目	③圏域観光の魅力アップ事業			
事業名	観光客受け入れ体制の充実			
事業概要	予算現額	9,852,000 円		
国内外から圏域へ来訪する観光客の受入の充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	決算額		9,852,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	3,382,000 円
			特定	6,470,000 円
前年度決算額		7,410,000 円		
中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 9,852,000 円				

事業項目	④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費			
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営			
事業概要	予算現額	3,745,000 円		
市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、本圏域のDMO組織を運営する。	決算額		3,745,000 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	3,745,000 円
			特定	0 円
前年度決算額		4,060,000 円		
中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 3,745,000 円				

## (4) 住みたくなる圏域づくり (環境の充実)

事業項目	①自然環境の保全・活用事業			
事業名	自然環境学習			
事業概要	予 算 現 額	0 円		
ラムサール条約登録湿地の中海・宍道湖をはじめ圏域の豊かな自然環境等の学習及び関係機関と連携した情報発信を行う。	決 算 額	0 円		
	財 源	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
	内 訳	負 担 金	一般	0 円
			特定	0 円
前年度決算額	760,559 円			

## 1. 事業内容

圏域の豊かな自然環境等について、鳥取・島根両県等と連携して情報発信を行った。

## (1) 鳥取・島根両県等と連携した活動

- 「中海・宍道湖ラムサール条約登録 15 周年記念イベント」開催協力

開催日：10月31日（土）

会場：米子コンベンションセンター BIGSHIP

主催：鳥取・島根両県、後援：圏域市長会



- 「宍道湖・中海の魅力展」の開催

開催期間：3月1日（月）～11日（木）

会場：安来市総合文化ホール アルテピア 2階市民ギャラリー

主催：島根県、共催：圏域市長会



- 中海バイク&ラン（※新型コロナウイルス感染症の拡大により開催中止）

主催：鳥取・島根両県

## (2) 自然環境学習

小学生が圏域の幅広い自然環境を体験学習できる「子ども探検スクール」を当初計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、開催を中止した。

事業項目	①自然環境の保全・活用事業		
事業名	自然環境の保全・活用にかかる広報啓発		
事業概要	予 算 現 額		1,000,000 円
自然環境の保全や利活用、圏域の低炭素化に向けた電気自動車の普及啓発の取組などの広報啓発を行う。	決 算 額		895,400 円
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
	特定		0 円
前年度決算額		993,203 円	

## 1. 事業内容

圏域の次代を担う子どもたちへ、圏域の自然環境の豊かさやその保全等について広報啓発を行った。

### (1) 圏域のケーブルテレビを活用した情報発信

圏域の自然環境関連施設や各市の取組等を紹介する子ども向け情報発信番組を制作し、圏域の各ケーブルテレビ局で放送した。

○番組名 : 「ウンパくんと自然環境を学ぼう」(15分番組)

○放送局 : 山陰ケーブルビジョン(株)(エリア:松江市全域、安来市全域)

出雲ケーブルビジョン(株)(エリア:出雲市 ※旧平田市を除く)

ひらたCATV(株)(エリア:出雲市の一部 ※旧平田市全域)

上記以外の島根県ケーブルテレビ協議会加入局

(株)中海テレビ放送(エリア:米子市、境港市、日吉津村、日南町、伯耆町、南部町、大山町、日野町)

○各局放送回数:12~36回(放送時期:2月~3月)

○委託契約相手:島根県ケーブルテレビ協議会



### (2) 子ども向け新聞を活用した情報発信

山陰中央新報こども新聞「週刊さんいん学聞(まなぶん)」記事掲載

○10/7(水):オオサンショウウオ(安来市)

○11/4(水):ジオパークツアー(松江市)

○11/11(水):米子水鳥公園 開園25周年(米子市)

○3/24(水):弓ヶ浜半島 竹内マツ植樹(境港市)

○3/31(水):イズモコバイモ(出雲市)



## 2. 経費内訳

圏域のケーブルテレビ番組制作及び放送業務委託費

895,400 円

事業項目	②安心して暮らすことのできる環境づくり事業		
事業名	防災対策の充実		
事業概要	予算現額	500,000 円	
安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。	決算額	485,100 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	191,840 円		

## 1. 事業内容

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入（連絡協議会幹事市：出雲市）

- (1) 構成市町村の防災担当課による連絡協議会開催
- ・連絡協議会の開催（9月、12月開催 ※書面開催）
  - ・衛生電話を使用した通信訓練の実施（2月19日（金））

- (2) 各市間で融通し使用する防災資機材の購入
- ワンタッチパーテーション ファミリールーム 21張
- ・米子市、松江市、出雲市 各5張
  - ・安来市、境港市 各3張

[中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会（参考）]

中海・宍道湖・大山圏域災害時相互応援協定（H25年締結）に基づき設置された協議会  
※構成市町村：5市及び鳥取県西部町村会

## 2. 経費内訳

防災資機材の購入経費 485,100 円

### ワンタッチパーテーション ファミリールーム

WT-101/WT-120 WT-146/WT-180

災害時、屋内での集団避難生活における被災者のプライバシーを確保します。



## (5) ともに歩む圏域づくり（連携と協働）

事業項目	①圏域情報の共有・発信		
事業名	圏域内外へのエリアプロモーション		
事業概要	予 算 現 額	302,000 円	
圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。	決 算 額	287,980 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円
		補 助 金	0 円
		負 担 金	一般
	特定		円
前年度決算額	298,442 円		
<p>1. 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知</li> <li>○ホームページ管理業務委託</li> </ul> <p>2. 経費内訳</p> <p>ホームページ運用管理委託料 287,980 円</p>			
			

事業項目	②圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域内の連携・交流推進			
事業概要			予算現額	3,810,000 円
圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。	決算額		3,172,125 円	
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	
	特定			2,450,000 円
前年度決算額			3,671,680 円	

### 1. 事業内容

圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間及び各団体との意見交換の場を設ける等、連携を促進するための仕掛けづくりを行った。

#### (1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進

[8/4 合同勉強会]

講師：読売テレビ報道局兼制作局 チーフプロデューサー、境港市観光協会 会長  
結城豊弘氏

演題：「新型コロナに勝つために ～経済・観光のブランディングの極意～」

[2/12 合同勉強会]

講師：国土交通省中国地方整備局 道路部長 松浦利之氏

演題：「道路行政に関する最近の話題」

#### (2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道4車線化、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動等、圏域一体で取り組む事業の推進・強化

○圏域内連携事業の推進

- ・ 6/10 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動（要望書郵送）
- ・ 8/27 境港整備に係る要望活動
- ・ 11/12 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議による国土交通省に対する要望活動
- ・ 11/13 中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 IC～境港間）整備促進総決起大会を開催、国土交通省に対する要望活動
- ・ 12/ 5 境港整備に係る要望活動（要望書郵送）



（中国横断新幹線（伯備新幹線）要望活動）

○日本街道交流会議第13回全国大会山陰大会（仮称）プレ大会開催事業

第13回全国大会「山陰大会」キックオフ講演会の開催（3/23）

講師：小泉八雲記念館館長 小泉凡氏

演題：小泉八雲の物語でつなぐ山陰 ～文化資源として活かす作家と文学～

## 2. 経費内訳

・意見交換会、合同勉強会の開催経費	309,275 円
・圏域内連携事業推進経費（要望活動旅費等）	112,850 円
・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金	2,450,000 円
・全国街道交流会議第13回全国大会 プレ大会開催負担金	300,000 円



事業項目	②圏域内の連携・交流推進		
事業名	人材育成の共同化		
事業概要	予算現額	1,200,000 円	
圏域内の経済団体・行政で構成する「山陰まんなか未来創造塾実行委員会」と連携し、圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。	決算額	942,694 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
前年度決算額	470,400 円		

## 1. 事業内容

圏域の未来を切り開く推進力となる人材育成を目的に、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と合同で研修会「山陰まんなか未来創造塾」を開催し、受講者が多彩な分野の講師の経験や理論を学んで視野を広げるとともに、企画力・想像力を磨く機会を提供した。

「山陰まんなか未来創造塾」の開催

〔第1回〕

12月9日（水） 松江商工会議所

講師：カレーハウス CoCo 壺番屋 創業者 宗次徳二氏

演題：宗次流 独断と偏見の経営哲学

受講者数：33人（企業・商工団体：16人、行政：17人）



〔第2回〕

12月17日（木） 松江商工会議所

講師：ジャーナリスト 長谷川幸洋氏

演題：コロナ後の世界と日本を展望する

受講者数：30人（企業・商工団体：14人、行政：16人）



## 2. 経費内訳

山陰まんなか未来創造塾実行委員会への負担金 942,694 円

事業項目	②圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要	予 算 現 額		500,000 円	
	決 算 額		300,000 円	
	財 源 内 訳	国・県支出金	0 円	
		補 助 金	0 円	
		負 担 金	一般	300,000 円
			特定	0 円
前年度決算額		1,767,121 円		

## 1. 事業内容

圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施、支援等の実施

### ○スポーツを通じた圏域交流イベントの開催

圏域の小学生対象のスポーツ交流・体験イベントを当初計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、開催を中止した。

### ○文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援

圏域住民の交流促進等を目的とする主体的な活動を支援する「文化・スポーツ交流促進事業補助金」を交付する計画であったが、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、補助金の交付申請は無かった。

### ○イベント交流事業の開催

開催市	イベント名	実施日	招致団体等
米子市	米子城三の丸 PARK Fes	3月27日	まつえ若武者隊（松江市）

※他の4市のイベントについては中止。



## 2. 経費内訳

- ・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催 0 円
- ・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援 0 円
- ・イベント交流事業の開催 300,000 円

事業項目	②圏域内の連携・交流推進					
事業名	圏域情報活用推進事業					
事業概要			予算現額	— 円		
	圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、 圏域の連携事業に活用する。		決算額		— 円	
			財源内訳	国・県支出金		— 円
				補助金		— 円
				負担金	特定	— 円
			一般		— 円	
		前年度決算額	— 円			
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>ビッグデータ等の分析・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中国経済連合会による「中海・宍道湖・大山圏域経済の「見える化」分析」の結果を活用した取組を検討。</li> <li>○東京大学との連携事業を見据えながら、東京大学地域未来社会連携機構や中国経済産業局と協議を行った。</li> </ul>						

事業項目	②圏域内の連携と協働		
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業		
事業概要	予算現額	200,000 円	
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。	決算額		0 円
	財源内訳	国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		負担金	一般
	特定		0 円
	前年度決算額	200,000 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに、自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る当初計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催中止となった。</p> <p>※第6回中海・宍道湖レガッタ 兼 第37回松江市民レガッタ（10月4日開催予定→中止）</p>			
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金                      0 円</p>			

事業項目	②圏域内の連携・交流推進		
事業名	移住・定住等促進事業		
事業概要	予算現額	1,730,000 円	
圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。	決算額	919,125 円	
	財源内訳	国・県支出金	円
		補助金	円
		負担金	一般
	特定		88,770 円
前年度決算額	1,776,221 円		

### 1. 事業内容

#### ○婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組

新型コロナウイルス感染症の影響で、従来の対面形式のイベントは実施困難と判断し、代替事業として、自治体の婚活事業に携わる職員向けオンラインセミナーを実施した。

実施日：12月15日

講師：日本婚活支援協会 代表理事 後藤幸喜氏

内容：コロナ時代に学ぶ官製婚活の役割、移住と婚活

参加人数：計16人

#### ○首都圏大学との圏域キャンパス事業

東京大学とのフィールドスタディ、体験活動を予定していたが、来圏による学外活動は中止となった。大学からオンラインによる体験活動協力要請を受け、宍道湖漁業協同組合の協力によるオンライン体験活動を実施した。(2月24日、3月4日、3月10日)



#### ○島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

前期は大学内での活動中止に伴いオンラインで開催。フィールドワークは中止となった。

- ・イノベーション創成セミナーⅠ 「自治体総合戦略アップデート計画」検討
- ・イノベーション創成セミナーⅡ 「未来年表」作成
- ・地域課題解決プロジェクト 「ふるさと納税返礼品を想定した体験型プログラム」開発

## 2. 経費内訳

・ 婚活に係る経費	88,770 円
・ 東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費	174,628 円
・ 島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費	655,727 円

## 2 特別会計

### (1) 環日本海貨客船航路就航支援補助金

事業項目	①環日本海貨客船航路就航支援補助金			
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金			
事業概要	予算現額		0 円	
	決算額		0 円	
	財源内訳	国・県支出金	0 円	
		補助金	0 円	
		負担金	一般	0 円
			特定	0 円
前年度決算額		9,600,000 円		
<p>1. 事業内容</p> <p>環日本海貨客船航路就航支援補助金</p> <p>圏域の基幹的な物流・観光インフラとして、境港と東海港（韓国）とを結ぶ環日本海貨客船航路の運航会社（DBS クルーズフェリー(株)）の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着・安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する補助金を交付する事業計画であったが、令和元年11月からの運休、運航会社の韓国海洋水産部への運航免許返納（令和2年4月）があり、令和2年度は運航が無い結果となった。</p> <p>○1航次につき、運航経費のうち固定経費の1/10（上限1,000千円）  ※1航次：境港～東海港1往復</p> <p>○負担割合：鳥取県7/10、市長会3/10</p> <p>《参考》  令和2年度当初予算  @1,000千円×52航次×3/10=15,600千円  ※構成市の負担金  出雲市・松江市・米子市：各2,000千円 安来市：1,000千円 境港市：8,600千円</p>				





参 考

令和 2 年度

一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局

事業実施報告

一般社団法人中海・共道湖・大山圏域観光局 令和2年度決算額一覧表

(単位：円)

【歳入】

項	目	当初予算額	補正①	補正②	補正③	現計予算額	決算額	比較	備	考
負担金	負担金	51,681,000	8,295,000	0	0	59,976,000	59,976,000	0		
	市長会からの負担金	47,726,000	12,250,000			59,976,000	59,976,000	0		
		3,955,000	△ 3,955,000			0	0	0	人件費負担金	
会費	会費	6,770,000	0	0	0	6,770,000	6,840,000	70,000		
	正会員	6,500,000				6,500,000	6,570,000	70,000	大山圏域7商工会	
	賛助会員	270,000				270,000	270,000	0		
補助金	補助金	—	—	—	0	0	0	0		
繰越金	繰越金	1,000,000	4,364,000	0	0	5,364,000	5,363,534	△ 466	前年度繰越金	
諸収入	諸収入	1,000	0	0	0	1,000	940,237	939,237	松江市・島根県 翻訳業務委託料	
合計	合計	59,452,000	12,659,000	0	0	72,111,000	73,119,771	1,008,771		

【歳出】

(単位：円)

項	目	本年度当初予算	補正①	補正②	補正③	現計予算額	決算額	比較	備	考
外国人誘客対策事業	外国人誘客対策事業	23,700,000	△ 3,800,000	△ 3,500,000	0	16,400,000	15,261,000	1,139,000		
	クルーズ船おもてなし事業	5,000,000	△ 3,800,000			1,200,000	61,930	1,138,070		
	インバウンドプロモーション	18,700,000		△ 3,500,000		15,200,000	15,199,070	930		
国内誘客対策事業	国内誘客対策事業	16,800,000	16,449,000	6,236,000	800,000	40,285,000	38,144,966	2,140,034		
	国内観光プロモーション	2,000,000	△ 125,000			1,875,000	996,150	878,850		
	三大都市圏等へのPRプロジェクト	14,800,000			800,000	15,600,000	15,050,832	549,168		
圏域観光の魅力アップ事業	アバターコロナ緊急対策事業	—	16,574,000	6,236,000		22,810,000	22,097,984	712,016		
	観光観光の魅力アップ事業	10,252,000	△ 399,000	0	0	9,853,000	9,831,083	21,917		
	観光客受入体制の充実	10,252,000	△ 399,000			9,853,000	9,831,083	21,917		
事務局費	事務局運営費	7,700,000	△ 3,955,000	0	0	3,745,000	3,743,820	1,180		
予備費	予備費	1,000,000	4,364,000	△ 2,736,000	△ 800,000	1,828,000	0	1,828,000		
合計	合計	59,452,000	12,659,000	0	0	72,111,000	66,980,869	5,130,131		
R2歳入合計							73,119,771			
R2歳出合計							66,980,869			
令和3年度繰越							6,138,902			

## 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

市長会との協定に基づき実施

事業項目	①外国人誘客対策事業										
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし										
事業概要			令和2年度現計予算額								
			1,200,000 円								
クルーズ船寄港時、岸壁にて、交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する外国人観光客の満足度アップを図る。			令和2年度決算額								
			61,930 円								
	財源内訳	市長会負担金		61,000 円							
		DMO会費		0 円							
		補助金		0 円							
その他		諸収入	930 円								
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>令和2年春境港市に貨客船ターミナルが完成したが、新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ客船の寄港が全便中止となったため、外国人観光客の圏域周遊促進と旅行消費の拡大のための事業が実施できなかった。</p> <p><b>(1) ターミナルにおける観光案内・交流イベントの実施</b></p> <p>クルーズ客船寄港地である境港市を中心に、市長会5市が協力して、クルーズ客船乗客及びクルー向けの交流イベント（伝統芸能披露、日本文化体験 等）や観光案内を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内の実施予定（大型～中型船で実施）当初33回⇒変更13回⇒実績0回</li> <li>・交流イベントの実施予定（原則、全船で実施）当初55回⇒変更13回⇒実績0回</li> </ul> <p>[参考：令和元年度クルーズ客船寄港 53回]</p> <p>令和2年度は全船寄港キャンセル。当初寄港予定であった交流イベント実施団体の事前調整費用（14団体分）のみ発生。</p> <p><b>(2) 外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理</b></p> <p>外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、ボランティアによる観光案内業務を実施。⇒寄港なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中海・宍道湖観光協会会議に委託 ※対応可能言語；英語、韓国語、中国語、その他</li> </ul> <p>令和2年度は全船寄港キャンセル。</p>											
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:right;">決算額</td> </tr> <tr> <td>・観光案内・交流イベントの経費</td> <td style="text-align:right;">61,930 円</td> </tr> <tr> <td>・観光案内業務の経費</td> <td style="text-align:right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align:right;">61,930 円</td> </tr> </table>					決算額	・観光案内・交流イベントの経費	61,930 円	・観光案内業務の経費	0 円	計	61,930 円
	決算額										
・観光案内・交流イベントの経費	61,930 円										
・観光案内業務の経費	0 円										
計	61,930 円										

事業項目	①外国人誘客対策事業		
事業名	圏域インバウンドプロモーション		
事業概要		令和2年度現計予算額	15,200,000 円
圏域への外国人観光客誘致のための取組を実施する。		令和2年度決算額	15,199,070 円
	財源内訳	市長会負担金	13,744,000 円
		D M O 会費	1,455,070 円
		補助金	0 円
		その他	0 円

## 1. 事業内容

2020 東京オリ・パラでの訪日外国人の増加を見込んでいたが新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、WEBを中心とした重要ターゲット国・地域\* 及び在日外国人に向けた観光プロモーションを実施し、圏域の魅力・観光資源の情報発信及び誘客促進を図った。

\*重要ターゲット国・地域・・・欧米豪・直通、近隣路線の東アジア（台湾、香港、上海）

### (1) 海外への観光プロモーションの実施

- ・ J N T O（日本政府観光局）賛助会員制度を活用したプロモーション
- ・ 国・地域別プロモーション

○台湾向け重点プロモーション（見本市出展、現地商談会開催等）

訪日旅行サイトでの情報発信、台湾向け動画制作、配信

一畑トラベル台湾事務所を活用した情報発信

TJ コネクトフェア、建国花市出展

○ターゲット国・地域向けプロモーション※

圏域所要時間マップの制作

Tokyoweekender 広告記事掲載（R2.12～R3.3）

- ・ WEBを活用した情報発信

○英語版ホームページの充実（機能追加・改修等）※ モデルコースの追加等

○SNSによる情報発信 海外向けフェイスブック及びインスタグラム運用委託

多言語圏域 PR 動画制作、情報説明会用 USB 作成



### 2. 経費内訳

決算額

・ J N T O 賛助会員会費	300,000 円
・ 台湾重点プロモーション	6,032,550 円
・ 欧米豪プロモーション	3,800,880 円
・ 他ターゲット国プロモーション	440,660 円
・ WEBを活用した情報発信	4,624,980 円
計	15,199,070 円

【財源】・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）※

事業項目	②国内誘客対策事業		
事業名	国内観光プロモーション		
事業概要	令和2年度現計予算額		1,875,000 円
国内各方面から圏域への観光客誘致のための取組を実施する。	令和2年度決算額		996,150 円
	財源内訳	市長会負担金	996,000 円
		D M O 会費	0 円
		補助金	0 円
		その他 諸収入	150 円

## 1. 事業内容

国内各方面からの観光誘客促進のため、JR、航空祭等と連携した取り組みを実施するとともに冬季対策の検討、旅行消費額の拡大に向けた観光コンテンツの充実を図った。

### (1) JR、航空祭等と連携した観光プロモーションの実施

- ・ JR京阪神地区主要駅（8駅）におけるPRキャラバンの実施  
JR主催事業；年4回（6、9、12、3月）実施予定→中止
- ・ 航空自衛隊美保基地「航空祭」での観光プロモーション→開催中止

### (2) 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進

- ・ 「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する各空港の冬季利用促進事業の実施に係る経費の一部（上限各750,000円）を負担した。

### (3) メディア・旅行会社への情報提供

- ・ 旬の観光情報や、圏域の魅力をパブリシティで情報提供  
Yahoo!インフィード広告で情報発信



## 2. 経費内訳

	決算額
・ 出雲、米子両空港の冬季利用促進経費	802,990 円
・ メディア・旅行会社への情報提供	193,160 円
計	996,150 円

事業項目	②国内誘客対策事業			
事業名	三大都市圏等への圏域PRプロジェクト			
事業概要			令和2年度現計予算額	15,600,000 円
	人口集中地域である三大都市圏等（首都圏・中京圏・関西圏）において、圏域の魅力や観光資源の積極的な情報発信を行い、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		令和2年度決算額	15,050,832 円
	財源内訳	市長会負担金		15,004,000 円
		DMO会費		46,832 円
		補助金		0 円
その他		0 円		

## 1. 事業内容

マイクロツーリズムによる山陽方面を中心に、人口集中地域である三大都市圏及び、直行便のある仙台、静岡に向けて継続的に情報発信し、認知度向上と観光誘客を図った。

### (1) 三大都市圏への観光プロモーション※

カメラガールズによる情報発信と観光素材写真撮影

まっふる山陰広告記事掲載

西武新宿線ステッカー広告掲出（7/15～1年間）

渋谷109フォーラムビジョンCM放映（R3.2月～8月）



### (2) 三大都市圏以外からの誘客強化

- ・南北軸を結ぶ山陽方面からの誘客プロジェクト

10/2-3 山陰いいものマルシェ IN 岡山開催

TJおかやま、TJひろしま広告記事掲載

テレビせとうち番組制作（出雲・境港）



中国経済産業局事業「原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業」連携実施

- ・東北・静岡方面からの誘客プロジェクト

FDA機内誌（秋号）広告記事掲載

11/7、8 出雲空港整備利用促進協議会主催「出雲路物産・観光展」参加

11/28、29 島根県、縁結び観光協会と連携し仙台イベント出展



### (3) WEBによるプロモーション

- ・日本語ホームページの活用・充実。SNSによる情報発信など。

機能強化、モデルコース追加



## 2. 経費内訳

決算額

- ・三大都市圏へのプロモーション経費 5,664,160 円
  - ・三大都市圏以外へのプロモーション経費 7,886,672 円
  - ・WEBによるプロモーションに係る経費 1,500,000 円
- 計 15,050,832 円

### 【財源】

- ・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）※

事業項目	②国内誘客対策事業			
事業名	アフターコロナ緊急対策事業			
事業概要			令和2年度現計予算額	22,810,000 円
	新型コロナウイルス感染症による移動自粛の解除等、収束後の段階的な緩和に伴う観光動向を見据えて国内観光客の旅行需要を喚起し、誘客及び圏域内での周遊観光促進を図る。		令和2年度決算額	22,097,984 円
	財源内訳	市長会負担金		16,597,000 円
		DMO会費		5,338,098 円
		補助金		0 円
	その他	諸収入	162,886 円	
<b>1. 事業内容</b>				
<p>次の各種キャンペーン等を実施し、地元を中心とする国内観光客の圏域内周遊観光を促進するとともに観光消費拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラムハッシュタグキャンペーン（①島根・鳥取県民限定 ②限定なし） 「シマトリたびハッシュタグキャンペーン」 （①7/10～8/31：912 投稿、②10/17～1/31：2,570 投稿）</li> <li>・日帰り温泉スタンプラリー 「山陰湯めぐりスタンプラリー」 （①7/22～9/30：21 施設・126 人応募、②3/8～5/9：24 施設・565 人応募）</li> <li>・うんぱく三城めぐりキャンペーン 三城紹介パンフレット「うんぱく三城攻略本」制作 「うんぱく三城重ね捺しスタンプラリー」（10/1～2/28：スタンプ台紙販売 634 枚）</li> <li>・窯元めぐりキャンペーン 「窯元さんぽデジタルスタンプラリー」（10/10～12/31：延べ 628 人参加）</li> <li>・出雲大社を核とするキャンペーン 「令和2年度下期中海・宍道湖・大山圏域旅行商品造成費補助金」制定 （3 社：合計 438 人泊） 「旅行読売 10 月号」神在月特集記事掲載</li> <li>・安心・安全対策補助（広報啓発等） TVCM制作、放映（山陰・山陽）、「鬼滅の刃」劇場動画CM上映（10/16～10/31） 第2弾CM制作、放映</li> </ul>				
<b>2. 経費内訳</b>				
			決算額	
	・インスタグラムハッシュタグキャンペーン		3,019,020 円	
	・日帰り温泉スタンプラリー		6,281,862 円	
	・うんぱく三城めぐりキャンペーン		1,416,182 円	
	・窯元めぐりキャンペーン		1,979,340 円	
	・出雲大社を核とするキャンペーン		2,838,640 円	
	・安心・安全対策補助		6,562,940 円	
	計		22,097,984 円	

事業項目	③圏域観光の魅力アップ事業			
事業名	観光客受け入れ体制の充実			
事業概要			令和2年度現計予算額	9,853,000 円
	国内外から圏域へ来訪する観光客の受入の充実を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。		令和2年度決算額	9,831,083 円
	財源内訳	市長会負担金		9,831,000 円
		DMO会費		0 円
		補助金		0 円
その他		諸収入	83 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域の魅力アップにつながる事業への参加・協力・支援等の取組を通じて、国内、海外から圏域へ来訪する観光客の受け入れ体制の充実や圏域観光に携わる人材のスキルアップを図り、リピーターの確保につながる取り組みを実施した。特に、来訪者の満足度向上を目的に観光庁、中国運輸局と連携し外国人観光客の受入環境整備を推進した。</p> <p><b>(1) 圏域に来訪する外国人観光客受入環境整備の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示物等整備（事業所等の説明文・メニュー等の多言語化支援（翻訳サービス）等） 観光庁事業「多言語解説整備支援事業」連携実施 翻訳サービス実施（島根県：宍道湖・中海ラムサール条約、松江歴史館：企画展 NARITAKE）</li> <li>観光案内所ネットワーク化の推進（観光案内所連絡会にて研修等の実施） 観光案内所職員現地研修 2/8、15 実施</li> <li>キャッシュレス化の推進と免税店登録の拡大、冬季（閑散期）対策、二次交通の充実など業種別連絡会（飲食・物販・宿泊・交通）を通じて取組む。 物販連絡会「外国人観光客おもてなし対応セミナー」9/14・15（松江、米子）開催</li> <li>簡体字パンフレット増刷</li> </ul> <p><b>(2) テーマ別コンテンツの磨き上げ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圏域らしい観光コンテンツをまとめ、各種プロモーション等に活用する。</li> <li>体験型旅行商品を開発しインバウンドプロモーションに活用する。 中国運輸局事業「グローバルコンテンツ造成事業」連携実施 神話ゆかりの地周遊ドライブマップ増刷</li> </ul> <p><b>(3) 「縁むすびスマートナビ」アプリ維持管理・運用業務委託</b></p> <p><b>(4) 各種事業との連携、参加・協力・支援及びノベルティ・パンフレット作成等</b> 山陰まんなかぐるりたびパンフレット日本語版、工芸品パンフレット日本語版</p>				
<b>2. 経費内訳</b>		決算額		
外国人観光客受入環境整備		1,815,624 円		
テーマ別コンテンツの磨き上げ		816,920 円		
「縁ナビ」アプリ維持管理・運用		6,469,320 円		
各種事業連携及びノベルティ作成等経費		729,219 円		
計		9,831,083 円		



事業項目	④中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費										
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営										
事業概要			令和2年度現計予算額	3,745,000 円							
			令和2年度決算額	3,743,820 円							
	市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し、本圏域のDMO組織を運営する。	財源内訳	市長会負担金	3,743,000 円							
			DMO会費	0 円							
			補助金	0 円							
その他 諸収入			820 円								
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域の市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議で構成する地域連携DMO組織として、圏域全体の発展を見据え、コロナ禍においてもさらなる地域活性化及び圏域経済の振興に寄与する事業を実施し、安定的な運営体制の検証と強化を図った。</p> <p>(1) 圏域観光局総会・理事会の開催 総会（書面決議） 理事会①（書面決議）、②7/3、③11/11、④3/26</p> <p>(2) 山陰DMO等との連絡会の開催 7/31 山陰DMO連絡会議（リモート） 10/11 新型コロナウイルス特別講演会（境港市観光協会との共催）</p> <p>(3) 観光局の運営に係る嘱託職員等の雇用 4/1～嘱託職員雇用</p> <p>(4) 安定的な財源確保の検討及びDMO組織の運営強化</p>											
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・嘱託職員雇用経費</td> <td style="text-align: right;">2,177,606 円</td> </tr> <tr> <td>・事務局運営費</td> <td style="text-align: right;">1,566,214 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">3,743,820 円</td> </tr> </tbody> </table>					決算額	・嘱託職員雇用経費	2,177,606 円	・事務局運営費	1,566,214 円	計	3,743,820 円
	決算額										
・嘱託職員雇用経費	2,177,606 円										
・事務局運営費	1,566,214 円										
計	3,743,820 円										